

教えて!

富山 けいざい



ワーケーションって?

◆新しい旅行・仕事の形／国内観光需要を喚起

Q-ワーケーションってなあに。

A-「ワーク」(仕事)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、旅行先で休暇を楽しみながら、テレワークで仕事を行うという新しい旅行や働き方のスタイルのことです。7月に行われた観光戦略実行推進会議で政府が普及を進める方針を示したことで話題になりました。

Q-なぜ普及させたいの。

A-新型コロナウイルス感染症の影響で国外からの観光客が途絶え、観光業界は厳しい状況にあります。そのため、ワーケーションなどの新しい観光のスタイルを提示することで国内観光需要を喚起し、観光業界の活性化につなげたいようです。

ワーケーションを活用すれば、旅行が集中しがちな週末や大型連休以外にも旅に出やすくなります。旅行先の混雑緩和にもつながるため、今の時代に適した観光のスタイルであると言えるでしょう。ワーケーションによる旅行は観光地での滞在時間が長くなりやすいため、旅行消費の増大にもつながると期待されています。

Q-これからどんどん普及していくのかな。

A-普及には課題も多いです。ワーケーションを受け入れる観光地側では、仕事を行うためのスペースや無線LAN「Wi-Fi(ワイファイ)」など環境面の整備が必要です。ワーケーションを行う企業側でもテレワークをさらに推進していくなど、態勢を整える必要があるでしょう。

富山県でもテレワーク応援プランを準備している宿泊施設が出てきています。ワーケーションに来てもらう機会はこれから増えていくでしょう。一方、首都圏の企業と比べるとテレワークの普及率はいまひとつです。富山県の企業でワーケーションが広まるには少し時間がかかるかもしれません。課題はありますが、観光や働き方の新しい選択肢として定着していくことを期待したいと思います。

(北陸経済研究所の藤貴伸が解説しました。随時掲載します)

ワーケーションの イメージ



効果

- 長い休みが取れる
- 人の少ない場所で過ごせる
- 働き方改革につながる

課題

- 仕事とプライベートが分けづらい
- 滞在費が高額になる
- 通信環境整備が必要